

問1 大正デモクラシーの風潮の中で1923年に制定され、1928年から実施された、国民が刑事裁判の審理において事実認定に関わることを認めた法律の名称を答えなさい。当時の報道では、主権者ではない国民が司法に参加する画期的な制度として紹介されました。（2023年 愛知公立入試 類似）

1. 陪審法 2. 裁判員制度 3. 治安維持法 4. 普通選挙法

問2 20世紀初頭、ヨーロッパでは二つの大きな軍事同盟が対立し、緊張が高まっていました。ドイツ、イタリアとともに「三国同盟」を結成していた国として正しいものを次から選びなさい。（2019年 愛媛公立入試 類似）

1. オーストリア・ハンガリー 2. ロシア 3. アメリカ合衆国 4. イギリス

問3 1918年に富山県で発生した米騒動が全国に広がり、当時の寺内正毅内閣が退陣した後に成立した内閣について説明した文として最も適切なものはどれですか。（2019年 滋賀公立入試 類似）

1. 衆議院で多数を占める立憲政友会の総裁であった原敬が、閣僚の多くを自党の党員で固めて組織した。
2. 軍部の有力者が中心となり、政党の影響を排除して国民の不満を力で抑え込むために組織された。
3. 板垣退助が自由党の党員を集めて、日本で初めての本格的な政党内閣を組織した。
4. 特定の政党に属さない貴族院の議員たちが、公平な立場から物価を安定させるために組織した。

問4 第一次世界大戦後の国際秩序形成において、スイスのジュネーブに本部を置いて発足した世界初の国際平和維持組織と、その組織で事務次長を務めた日本人の組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2016年 歴史公立入試 類似）

1. 国際連盟 - 新渡戸稲造 2. 国際連盟 - 美濃部達吉 3. 国際連合 - 新渡戸稲造 4. 国際連合 - 幣原喜重郎

問5 第一次世界大戦の最中、日本が中国におけるドイツの権益を引き継ぐことなどを求め、当時の袁世凱政府に突きつけた要求を何とといいますか。（2021年 静岡公立入試 類似）

1. 二十一か条の要求 2. 国家総動員法 3. 治安維持法 4. 日比谷焼打事件

問6 第一次世界大戦の終結に際して、わが国がドイツとの間で結んだ講和条約と、その後の国際秩序維持のために設立された組織の名称の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2017年 福岡県公立入試 類似）

1. ベルサイユ条約 - 国際連盟 2. ポーツマス条約 - 国際連合 3. 下関条約 - 万国平和会議 4. サンフランシスコ平和条約 - 経済協力開発機構

問7 大正時代から昭和初期にかけて、都市部を中心に人々の生活様式が大きく変化しました。この時期の社会状況を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2018年 神奈川県公立入試 類似）

1. 和服が完全に廃止され、すべての国民が軍服を着用するようになった。
2. 都市部を中心に女性の社会進出が進み、洋服を着用する人々が増えた。
3. 全国的にテレビ放送が普及し、週休2日制が一般化した。
4. 戦時体制への移行により、中学生が軍需工場へ動員されることが一般的になった。

問8 第一次世界大戦後の国際情勢において、わが国がドイツと講和条約を結び、国際連盟に加盟した際の世界的な立場を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2017年 福岡県公立入試 類似）

1. イギリス、フランス、イタリアとともに、国際連盟の常任理事国となり、国際社会における地位を高めた。
2. ソ連との国交回復を優先したため、国際連盟への加盟は他の主要国に比べて大幅に遅れることとなった。
3. アメリカ合衆国が主導する国際連盟において、アジアで唯一の非加盟国として中立の立場を維持した。
4. 清との講和交渉が難航した影響で、国際連盟には加盟したものの常任理事国への選出は見送られた。

問9 20世紀初頭から関東大震災が起こるまでの期間、日本の学術研究は国際的に高い評価を得るようになりました。この時期に黄熱病などの医学研究で世界を舞台に活動し、千円紙幣の肖像にも採用された人物は誰ですか。（2021年 神奈川県公立入試 類似）

1. 野口英世 2. 北里柴三郎 3. 志賀潔 4. 湯川秀樹

問10 1925年に、満二十五歳以上の男子に選挙権を認める普通選挙法が制定されたのと同時期に、社会主義運動などの高まりを抑える目的で成立した法律はどれですか。（2025年 愛知公立入試 類似）

1. 治安維持法 2. 国家総動員法 3. 治安警察法 4. 破壊活動防止法

答え合わせ・解説

問1	答え 1 陪審法	第一次世界大戦後の民本主義の高まりを受け、司法への国民参加を目的として制定されました。これは現代の裁判員制度の先駆けともいえるものですが、1943年に戦争の影響などで停止されるまで運用されました。刑事裁判において、有罪か無罪かの事実認定を国民が行う仕組みです。
問2	答え 1 オーストリア・ハンガリー	19世紀末から20世紀初頭のヨーロッパでは、ドイツ、オーストリア・ハンガリー、イタリアの3カ国が「三国同盟」を形成していました。これに対し、イギリス、フランス、ロシアの3カ国は「三国協商」を結んで対抗しました。オーストリア・ハンガリーはバルカン半島への進出を巡ってロシアと対立しており、この構図が第一次世界大戦の背景となりました。
問3	答え 1 衆議院で多数を占める立憲政友会の総裁であった原敬が、閣僚の多くを自党の党員で固めて組織した。	米騒動によって民衆の力が増大したことを背景に、国民の声を反映しやすい政治体制が求められました。そこで、議会の多数党であった立憲政友会の総裁、原敬が内閣総理大臣に任命されました。陸軍・海軍・外務の各大臣以外を自党のメンバーで構成したこの内閣は、日本で最初の本格的な政党内閣と呼ばれています。
問4	答え 1 国際連盟 - 新渡戸稲造	アメリカのウィルソン大統領が提唱した「十四か条」に基づき、1920年に国際連盟が発足しました。日本は設立当初からの常任理事国であり、教育者としても知られる新渡戸稲造が事務局の要職である事務次長に就任し、「太平洋の橋になりたい」という志のもと国際協力に尽力しました。なお、国際連合は第二次世界大戦後に設立された別の組織です。
問5	答え 1 二十一か条の要求	第一次世界大戦が勃発し、列強がヨーロッパでの戦争に集中している状況を利用して、日本は中国における権益を拡大しようとしてきました。1915年に山東省のドイツ権益の継承などを含む要求を中国の袁世凱政府に出し、その大部分を認めさせました。これは後に中国の主権を侵害するものとして、激しい抗日運動（五・四運動）を招く原因となりました。
問6	答え 1 ベルサイユ条約 - 国際連盟	第一次世界大戦に勝利した連合国側は、1919年にパリ講和会議を開き、敗戦国であるドイツとの間にベルサイユ条約を締結しました。この条約に基づき、翌1920年には史上初の国際平和維持組織として国際連盟が正式に発足し、日本も原加盟国として参加しました。
問7	答え 2 都市部を中心に女性の社会進出が進み、洋服を着用する人々が増えた。	第一次世界大戦後の好景気を背景に、日本では急速に都市化が進展しました。この時期、「職業婦人」と呼ばれる女性の社会進出が目立つようになり、バスガイドやタイピストなどが活躍しました。生活面では洋服の着用や1925年のラジオ放送開始など、大衆文化や西洋的なライフスタイルが広まったのが特徴です。テレビの普及や週休2日制は戦後の高度経済成長期以降の出来事であり、中学生の勤労動員は太平洋戦争末期の特徴です。
問8	答え 1 イギリス、フランス、イタリアとともに、国際連盟の常任理事国となり、国際社会における地位を高めた。	国際連盟の発足時、日本は大国の一つとして認められ、イギリス、フランス、イタリアとともに常任理事国に就任しました。これにより、日本はアジアを代表する主要国として、国際政治の重要な意思決定に関わる立場となりました。なお、提唱国であったアメリカ合衆国は、議会の反対により国際連盟には加盟していません。
問9	答え 1 野口英世	野口英世は福島県出身の細菌学者で、20世紀初頭にアメリカのロックフェラー医学研究所を拠点として、黄熱病や梅毒の研究で世界的な業績を上げました。最終的にはアフリカのガーナで黄熱病の研究中に自らも感染して亡くなりました。この時代は、医学だけでなく物理学や化学など、様々な学術分野で日本人が国際的に活躍し始めた時期にあたります。
問10	答え 1 治安維持法	政府は普通選挙法の施行によって有権者が増え、社会主義的な思想が広まることを警戒しました。そのため、選挙権を拡大する一方で、国体（天皇制）の変革や私有財産制度の否認を目的とする結社や運動を厳しく取り締まるための「治安維持法」をセットで制定し、アメとムチの政策をとりました。